

佐賀県

みんなで読もう オススメ本



このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに紹介します。



ぐりとぐら

大好きな絵本の一つで、ぐりとぐらが作る大きなカステラを想像するととてもうらやましいです。
食の意地が張った子ども頃の話が大好きでした。
いつかあんな大きなカステラを食べてみたいです。



『ぐりとぐら』
作/なかがわりえこ
絵/おおむらゆりこ
福音館書店

お料理することと食べることが何より好きな野ねずみのぐりとぐらは、森で大きな卵を見つけました。目玉焼きにしようか卵焼きにしようか考えたすえ、カステラを作ることにしました。でも、卵があまり大きくて運べません。そこでフライパンをもってきて、その場で料理することにしました。カステラを焼くにおいにつられて、森じゅうの動物たちも集まってきます……。みんなの人気者ぐりとぐらは、この絵本から生まれました。

カレーライスはこわいぞ

モクモクでかわいいおばけのアッチはいたずら、子のもがみチとキを恐がらせようとします。
こわいおばけになるために辛いカレーライスを作って食べますが…。
子ども頃は辛いカレーを食べるとこわい顔になってもらうのがと心算でした。



『カレーライスはこわいぞ』
作/角野栄子 絵/佐々木洋子 ポプラ社

アッチはレストランの屋根うらに住んでいる食いしんぼうのおばけ。ある日、となりの部屋にねずみの兄弟・チとキがひっこしてきました。チとキはアッチがおどかしてもこわがらず、いたずらのしほうだい。アッチはくやくして、からいカレーを食べてこわい顔になるうと考えます。毎日毎日、からいカレーを食べるごとにアッチの顔はどんどんこわくなっていきます。ところが、チとキも同じことを考えていて……!?

くまさぶろう

泥棒の天才くまさぶろう。
何でも盗めるくまさぶろうは“ある物”を盗むようになりました。
くまさぶろうが自分のためではなく人のために盗んだあるものは。
心やさしいくまさぶろうに胸を打たれり作品です。



『くまさぶろう』
作/もりひさし 絵/ユノセイイチ
こぐま社

くまさぶろうは、大泥棒。その腕前と云ったら、動物園のゾウも盗めるほどです。ついには、おいしいものを食べた人の満足感や、人の気持ちまで盗めるようになります。やがて、くまさぶろうは、泣きたい子どもの気持ちや悲しい心を盗んで歩くようになり、旅を続けるのでした。

徳川慎之介選手ってどんな人?

1993年生まれで唐津市出身のプロバスケットボール選手です。高校生の時まで唐津市に住んでいました。今シーズンは佐賀ブルーナーズで副主将を務めています。シューティングガードというポジションで、積極的に相手をディフェンスする思いきりのいいプレーが持ち味です。大好きな佐賀県をバスケットボールで元気にできるようにがんばっています。



@B.LEAGUE

佐賀県立図書館
「ココロざしの森」
では、このコーナー
で紹介した児童書
と推薦文を展示
しています!

